

事務事業名	北部焼却施設管理費										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	03	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 47 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	業務委託により、市内から発生する可燃ごみ・破砕残渣・し尿し渣等を、1号炉(最大処理量45,000t)で周辺環境を害することなく衛生的に焼却処理するとともに、余熱の有効利用により発電を行い、関連施設へ電力を供給し余剰電力を売却する。 1号炉は長期契約(2007年4月1日から2027年3月31日までの20年間)で運転保守管理業務を委託している。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業実施内容	年間39,203tの可燃ごみ等を、周辺環境を害することなく、衛生的に焼却処理を行うとともに、余熱利用による発電(22,699MWh)と関連施設への電力供給、余剰電力の売却を行った。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳	
	451,423 千円	費目	支出済額(千円) / 主要内容
		需用費	29,507 千円 / 光熱水費、燃料費、消耗品費、印刷製本費等
		役務費	794 千円 / 各種分析及び点検に係る手数料等
		委託料	419,700 千円 / 1号炉運転保守管理・ダイオキシン類等分析業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳	
	451,423 千円	費目	支出済額(千円)
		分担金・負担金	
		使用料・手数料	193,851 千円
		国庫支出金	
	県支出金		
	その他(売電収入等)	257,572 千円	
	一般財源		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	10.78人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	10.78人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.20人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		行政費用 A	622,392	593,923	587,870	593,386
		(1)現金を伴う支出 (千円)	532,513	534,257	534,355	538,075
		事業費(支出済額)	432,917	427,094	432,098	451,423
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	99,596	107,163	102,257	86,652
		①常時勤務職員等の給与等	95,561	101,502	97,387	82,421
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	562
		③退職金相当額	4,035	5,661	4,870	3,669
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	89,879	59,666	53,515	55,311
		①減価償却費	95,486	55,966	55,966	55,966
		②退職給与引当金繰入額	-5,607	3,700	-2,451	-655
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他()	0	0	0	0

市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1449.73	429,317	1371.46	433,060	1351.05	435,121	1351.78	438,968
----------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		本事業は、焼却施設の維持管理を行うための事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	廃棄物処理対策事業費										担当	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	06	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	一般廃棄物の適正処理の確保を図るため、市施設での適正処理が難しい処理困難物の処理や破碎磁選物の処理や破碎磁選物等の運搬などを業務委託等により実施する。																
対象	1. 個人		市民													438,968	人
根拠法令等	法律等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業実施内容	廃乾電池・廃蛍光灯・廃タイヤ等の処理困難物の適正処理や、破碎磁選物・アルミ選別物の運搬などを業務委託等により実施した。 (処理実績) 廃乾電池:100.08t 廃蛍光灯:21.94t 廃タイヤ:15.57t (運搬実績) 破碎磁選物・アルミ選別物:226日																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 46,790 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	6,493 千円	光熱水費
		役務費	12,000 千円	家電リサイクル品や小型家電等の処理、各種分析に係る手数料
		委託料	28,294 千円	廃乾電池・廃蛍光灯等の再利用処理及び運搬などに係る業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額 46,790 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	46,790 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.96人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.96人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	53,697	54,475	61,031	63,405
		(1)現金を伴う支出 (千円)	53,757	54,155	61,341	63,524
		事業費(支出済額)	34,485	33,746	41,225	46,790
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	19,272	20,409	20,116	16,734
		①常時勤務職員等の給与等	18,334	19,196	19,034	15,915
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	938	1,213	1,082	819
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-60	320	-310	-119
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-60	320	-310	-119
		③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0		

市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	125.08	429,317	125.79	433,060	140.26	435,121	144.44	438,968
----------------------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	--------	---------

成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位
	上記指標名の設定ができない理由	本事業は、市域内から発生する処理困難物の適正処理を行うための事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	最終処分場管理費										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、廃棄物の最終処分場への埋立を行うとともに、最終処分場埋立終了後も、廃棄物が安定化し最終処分場を廃止するまでの間の施設維持管理を行う。																
対象	1. 個人		市民													438,968	人
根拠法令等	法律等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律														
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・最終処分場の埋立造成 ・浸出水処理施設の維持管理 ・発生ガス分析 ・最終処分場跡地管理 ・地下水、土壌、排水等のダイオキシン類測定分析 ・埋立地の残余容量調査 																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 132,967 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	31,294 千円	消耗品費・燃料費・物品修繕費・施設修繕費・印刷製本費・電気代・上下水道代
		役務費	10,252 千円	電話料・枝下ろし等手数料・施設所有(管理)者賠償責任保険料
		委託料	80,890 千円	最終処分場浸出水処理施設維持管理・最終処分場埋立造成等維持管理業務委託等
財源内訳	R3年度 支出済額 132,967 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	132,967 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	4.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	4.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	行政費用 A	186,271	193,714	207,875	188,169				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	164,963	167,617	179,561	170,494				
	事業費(支出済額)	120,799	124,029	135,808	132,967				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	44,164	43,588	43,753	37,527				
	①常時勤務職員等の給与等	40,232	39,283	41,399	35,772				
	②会計年度任用職員の報酬等	2,196	2,196	0	0				
	③退職金相当額	1,736	2,109	2,354	1,755				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	21,308	26,097	28,314	17,675				
	①減価償却費	12,347	26,216	26,216	18,124				
	②退職給与引当金繰入額	8,961	-119	2,098	-449				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		433.88	429,317	447.31	433,060	477.74	435,121	428.66	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	単位	単位
	上記指標名の設定ができない理由	本業務は、最終処分場の維持管理をするための事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	最終処分場整備費(繰越分)										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	003	説明	02	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	各最終処分場について、適切な運用を行うための整備及び整備計画を進める。						
対象	1. 個人	市民			438,968	人	
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業実施内容	最終処分場の適切な稼働状況及び安全性を確保するため、令和2年度予算の繰越により、「女坂最終処分場集水塔階段取替等工事」を実施した。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳					
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容			
	17,962 千円	工事請負費	17,952 千円	女坂最終処分場集水塔階段取替等工事			
		需用費	10 千円	印刷製本費			
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳					
	支出済額	費目	支出済額(千円)				
	17,962 千円	分担金・負担金					
		使用料・手数料					
		国庫支出金					
		県支出金					
その他(市債)			12,600 千円				
一般財源		5,362 千円					

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.18人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.18人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト支出	行政費用 A	0	0	2,614	19,439			
	(1)現金を伴う支出(千円)	0	0	2,011	19,499			
	事業費(支出済額)			0	17,962			
	償還金利息			0	0			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	2,011	1,537			
	①常時勤務職員等の給与等			1,903	1,462			
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0			
	③退職金相当額			108	75			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	0	0	603	-60			
	①減価償却費			0	0			
	②退職給与引当金繰入額			603	-60			
	③不納欠損額			0	0			
④その他()			0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	0.00	429,317	0.00	433,060	6.01	435,121	44.28	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
	上記指標名の設定ができない理由	本業務は、最終処分場を適切に運用するための整備事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	休止・廃止・完了
今後の方針	令和2年度予算の繰越事業である「女坂最終処分場集水塔階段取替等工事」は、令和3年度で完了した。令和4年度以降については、女坂最終処分場の長期的な維持管理が必要であり、その他の処分場に関しても全体的に老朽化が進んでいることから、将来にわたる整備計画を策定し、適切に整備事業を進めていく。

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	リサイクルプラザ管理費										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	平成 25 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等関係法令に基づき、市域内から発生する不燃ごみ・大型ごみの破碎処理を実施する。 破碎施設の運転・保守管理は、長期契約(2013年4月1日～2033年3月31日までの20年間)により業務委託をしている。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業実施内容	リサイクルプラザ藤沢において、業務委託により、本市域内から発生した大型ごみ及び不燃ごみの破碎処理(年間実績:10,873t)を周辺環境を害することなく衛生的に実施した。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	273,526 千円	費目	支出済額(千円) 主要内容	
		需用費	17,750 千円	光熱水費、施設修繕費等
		役務費	402 千円	電話料、傷害保険料
		委託料	255,081 千円	リサイクルプラザ藤沢運営業務委託
		負担金補助及び交付金	122 千円	講習参加負担金
	使用料及び賃借料	171 千円	AED及び複写機賃借料	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
	273,526 千円	費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	6,255 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他(光熱水費実費収入)	9,601 千円		
	一般財源	257,670 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	5.43人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	5.43人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.20人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	670,277	672,344	697,370	357,891		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	306,067	309,676	330,391	320,447		
		事業費(支出済額)	252,105	256,094	273,563	273,526		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	53,962	53,582	56,828	46,921		
		①常時勤務職員等の給与等	51,335	50,751	53,771	44,090		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	562		
		③退職金相当額	2,627	2,831	3,057	2,269		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	364,210	362,668	366,979	37,444		
		①減価償却費	364,969	364,735	364,735	38,102		
		②退職給与引当金繰入額	-759	-2,067	2,244	-659		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	1561.26	429,317	1552.54	433,060	1602.70	435,121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
上記指標名の設定ができない理由		本事業は、破碎処理施設の維持管理を行うための事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	リサイクルプラザ環境啓発事業費										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	004	説明	02	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	平成 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	地球温暖化防止や廃棄物の発生抑制、循環利用等の取組を推進するため、リサイクルプラザ藤沢環境啓発施設の運営を行う。				
対象	1. 個人	市民及びリサイクルプラザ藤沢来訪者			約 439,500 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市環境基本条例			
事業実施内容	リサイクルプラザ藤沢環境啓発施設の運営(施設来館者の受付、リサイクル体験講座の開催等)を行い、市民等の意識啓発を図った。 (運営実績) 総来館者数:665人、体験講座:2回・参加者49人、おもちゃ病院:10回、イベントは開催実績なし				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 207 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		報償費	86 千円	リサイクル体験講座等講師謝礼
		委託料	121 千円	電気自動車用急速充電器電話サポートセンター運營業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額 207 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他()				
一般財源	207 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.88人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.88人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト 支出	行政費用 A	16,486	17,020	18,776	8,545			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	17,492	17,165	18,477	8,001			
	事業費(支出済額)	11,228	11,333	11,436	207			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	6,264	5,832	7,041	7,794			
	①常時勤務職員等の給与等	5,959	5,485	6,662	7,145			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	281			
	③退職金相当額	305	347	379	368			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,006	-145	299	544			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-1,006	-145	299	544			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	38.40	429,317	39.30	433,060	43.15	435,121	19.47	438,968
成果実績	指標名	環境啓発施設入場者数	目標	6,500 人	6,500 人	6,500 人	3,000 人	
	実績	6,322 人	6,366 人	982 人	665 人			
備考	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、臨時休館や事業縮小等の対応で、入場者数が大幅減となり、令和3年度は、業務委託での施設運営も休止した。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 環境啓発施設は、施設見学だけでなく、リサイクルに関する体験講座等の事業に参加することで、楽しく学べることを目的とした施設であり、環境啓発における拠点施設となっている。今後とも施設での各種啓発事業を通して、市民一人一人の意識向上を図る必要がある。	中
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、事業実施に大きな制限（臨時休館など）が生じたため、業務委託による施設運営を休止し、事業内容を縮小したうえで、市職員が窓口業務や啓発事業を実施したことで、事業の有効性は限定された。	中
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点及び事業の費用対効果の観点から、業務委託による施設運営を休止とした。	有
	事業の方向性	事業の再構築	
今後の方針	令和4年度についても、引き続き、業務委託による施設運営を休止している。令和5年度以降に向けては、施設の有効活用が図られるように、事業の実施内容を再構築し、業務委託を再開する方向で検討を進める。		

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	し尿処理関係費										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 37 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	市内から発生する生し尿及び浄化槽汚泥の適正処理並びにし尿処理施設の維持管理を行う。				
対象	1. 個人	汲み取り式トイレ及び浄化槽の利用者			約 17,000 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業実施内容	生し尿2,123キロリットル及び浄化槽汚泥11,173キロリットル(推定)を、周辺環境を害することなく適正に処理するとともに、し尿処理施設の維持管理を行った。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3	3			
	52,857 千円	費目	支出済額 (千円)			主要内容		
		需用費	33,825 千円			光熱水費、薬剤費、施設修繕費等		
		委託料	16,648 千円			受入槽破砕ポンプ定期点検・乾式脱臭装置定期点検・水質分析業務委託等		
		役務費	2,174 千円			受入槽清掃作業、スクリーン処理水槽清掃作業等		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3	3			
	52,857 千円	費目	支出済額 (千円)			3		
		分担金・負担金					3	
		使用料・手数料						3
		国庫支出金						
	県支出金		3					
	その他 ()			3				
	一般財源	52,857 千円			3			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	6.93人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	1.00人工
合計	7.93人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	167,104	203,040	122,281	129,054		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	157,747	188,298	120,611	114,912		
		事業費(支出済額)	89,434	103,196	50,540	52,857		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	68,313	85,102	70,071	62,055		
		①常時勤務職員等の給与等	65,123	80,221	66,933	59,535		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	3,190	4,881	3,138	2,520		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	9,357	14,742	1,670	14,142		
		①減価償却費	14,302	9,698	9,698	13,442		
		②退職給与引当金繰入額	-4,945	5,044	-8,028	700		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	389.23	429.317	468.85	433.060	281.03	435.121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
上記指標名の設定ができない理由		本事業は、し尿処理施設の維持管理を行うための事業であり、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	し尿処理施設整備費										担当課	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	北部環境事業所し尿処理施設の維持管理に必要な工事を実施する。				
対象	1. 個人	汲み取り式トイレ及び浄化槽の利用者			約 17,000 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業実施内容	老朽化の著しいし尿処理施設の維持管理を行うため、遠心脱水機他オーバーホール工事を計画どおりに実施した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳	
	31,810 千円	費目	支出済額 (千円) / 主要内容
		工事請負費	31,790 千円 / 遠心脱水機他オーバーホール工事
		需用費	20 千円 / 印刷製本費
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳	
	31,810 千円	費目	支出済額 (千円)
		分担金・負担金	
		使用料・手数料	
		国庫支出金	
		県支出金	
	その他 (繰入金)	10,000 千円	
	一般財源	21,810 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.71人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.71人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト支出	行政費用 A	0	0	106,866	37,777			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	104,603	37,897			
	事業費(支出済額)			97,059	31,810			
	償還金利息			0	25			
	人件費合計(①+②+③)	0	0	7,544	6,062			
	①常時勤務職員等の給与等			7,138	5,765			
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0			
	③退職金相当額			406	297			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	2,263	-120			
	①減価償却費			0	0			
	②退職給与引当金繰入額			2,263	-120			
	③不納欠損額			0	0			
	④その他 ()			0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	429,317	0.00	433,060	245.60	435,121	86.06	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	単位	単位	単位	単位	単位
	上記指標名の設定ができない理由	本事業は、し尿処理施設の維持管理を行うための整備事業であることから、その事業の性質上、成果を数値で判断することができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------